災害補助率増高システム

1．システムの特徴

(1) 被災情報を入力するだけで、あとは自動処理。

(2) 変更が発生しても付番処理を再実行するだけ。

(3) 煩雑なダブり数の計算も自動で行います。

(4) 件数が多いときは複数端末から同時入力ができます。

(5) １０年以上の利用実績があります。

メインメニュー

ただいま、
市町村合併に伴う
システムの再構築
について、ご相談
を承り中です。

2．業務の流れ

前準備

年度初めに1回だけ実行します。
実行前に必ずバックアップを取ってください。
新しく開始する年度を指定します。

テーブル保守は随時行うことができます

災害状況入力

災害名や箇所番号、被災ブロックを設定します。
入力情報の確認も行ってください。
随時バックアップを取ってください。

耕作者番号の付番

データの変更があったら必ず実行します。
後処理も忘れずに行ってください。

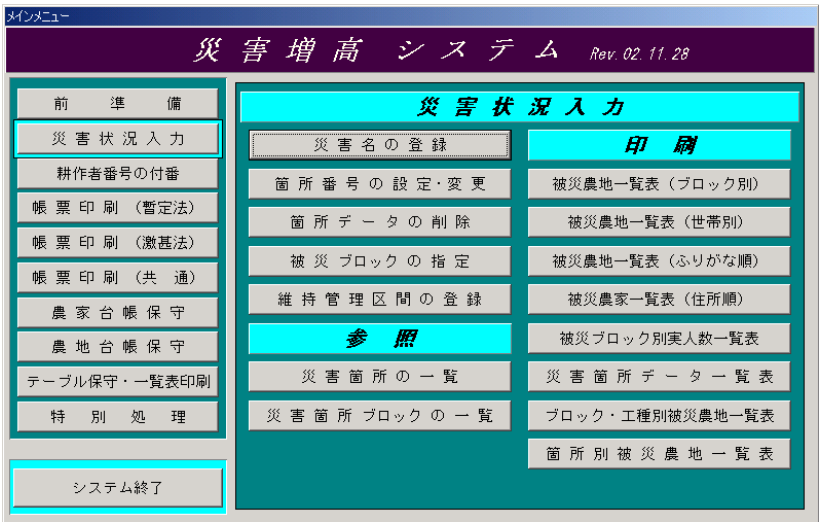
帳票印刷

暫定法、激甚法、共通に分かれています。
また、単年災、連年災でも区別されます。
順番に実行してください。

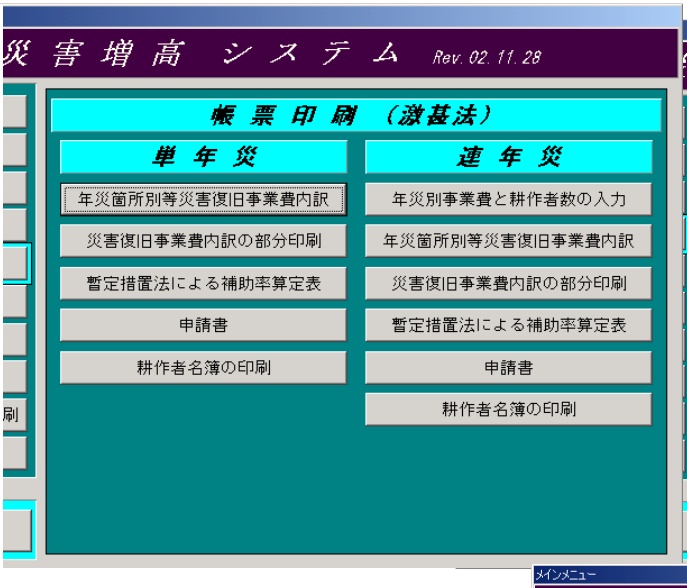
農家･農地台帳保守

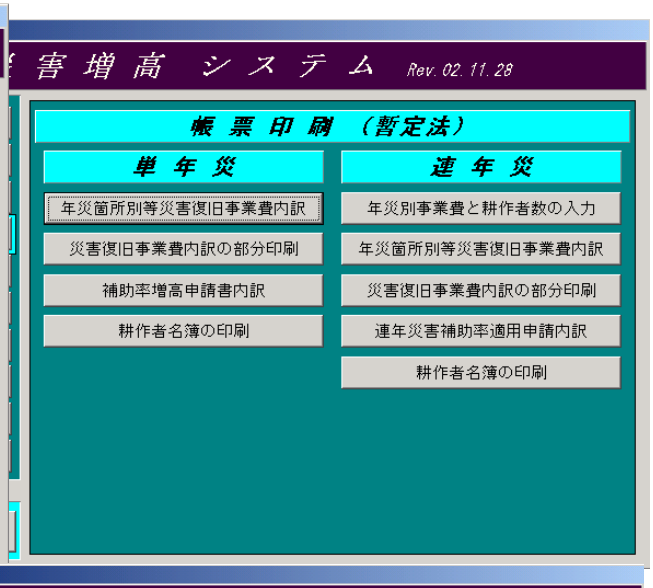
農家や農地の変更を随時行います。

3．出力帳票

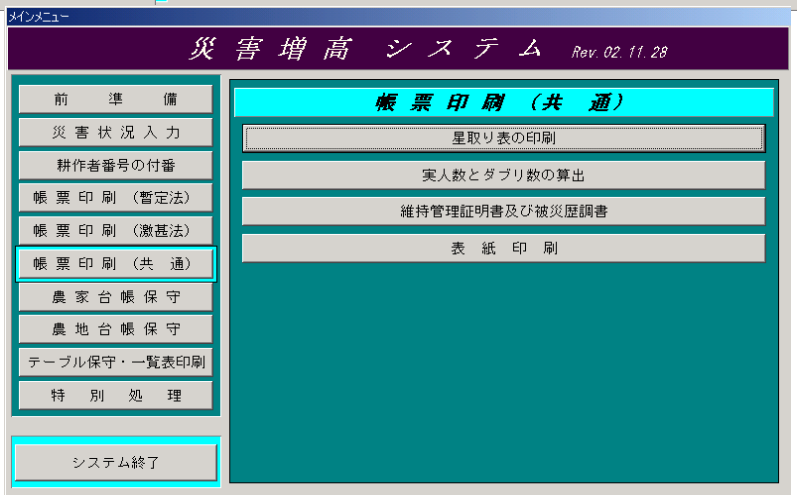


被災農地一覧表（ブロック別）
被災農地一覧表（世帯別）
被災農地一覧表（フリガナ順）
被災農家一覧表（住所順）
被災ブロック別実人数一覧表
災害箇所データ一覧表
ブロック・工種別被災農地一覧表
箇所別被災農地一覧表

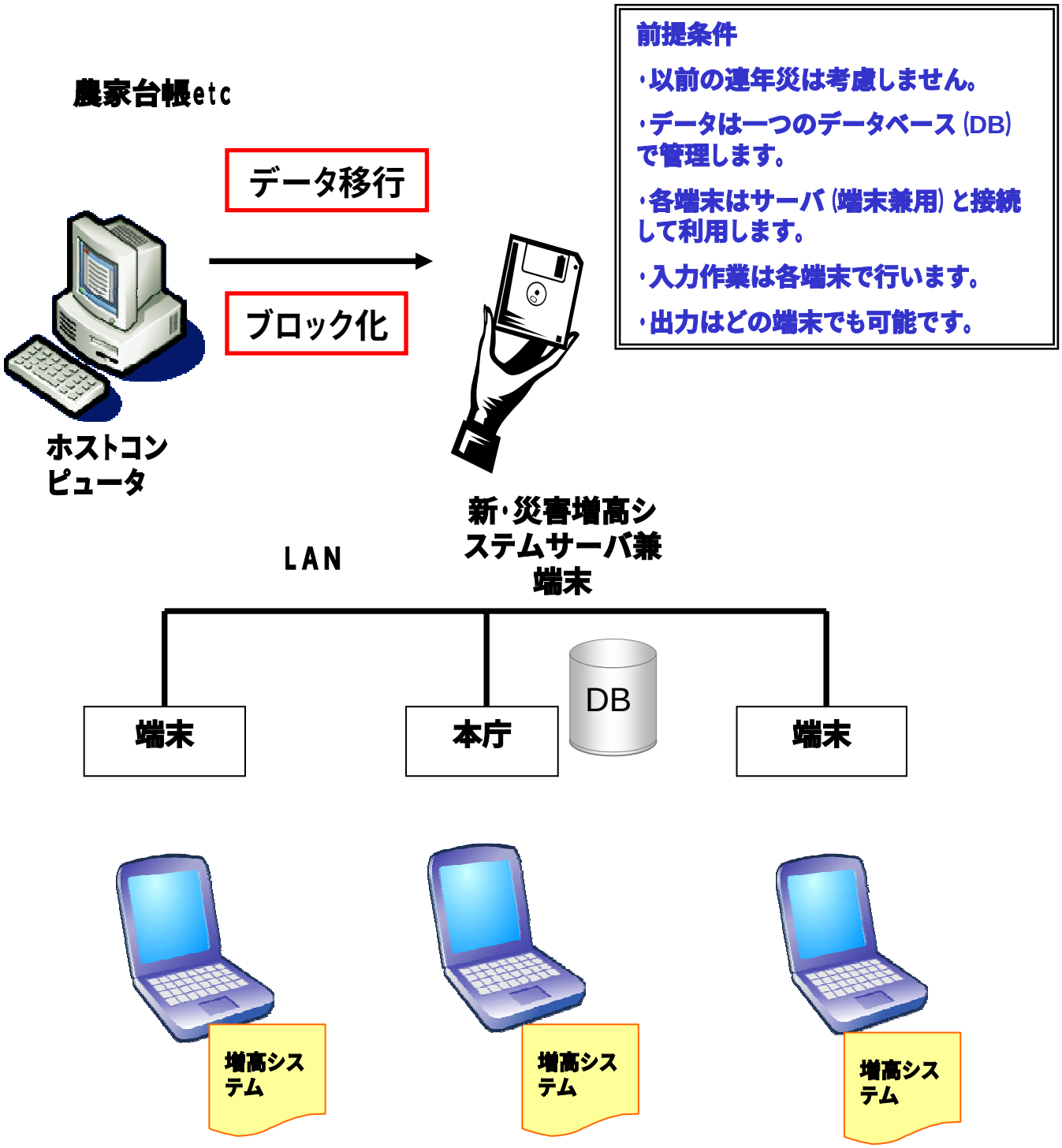




年災箇所別等災害復旧事業費内訳
補助率増高申請書内訳
連年災害補助率適用申請内訳
暫定措置法による補助率算定表
申請書
耕作者名簿
星取表
実人数とダブり数
維持管理証明書及び被災暦調書
表紙



4．構成例


前提条件
・以前の連年災は考慮しません。
・データは一つのデータベース（DB）で管理します。
・各端末はサーバ（端末兼用）と接続して利用します。
・入力作業は各端末で行います。
・出力はどの端末でも可能です。
農家台帳etc
データ移行
ブロック化
ホストコンピュータ
新・災害増高システムサーバ兼端末
LAN
DB
端末
本庁
端末
増高システム
増高システム
増高システム